



## 日本看護協会公式ホームページの活用； “最新看護索引 Web” を中心に

今泉 千代、江藤 夏子、根岸 准子

### I. はじめに

日本看護協会（以下、本会）は、保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を持つ個人が加入する日本最大の看護職能団体である。日本の看護職の就業者数約 133 万人<sup>1)</sup>の約半数である 60 万人が加入し、看護職の資質の向上と、社会的な地位の向上に向けた活動や、研修などの生涯学習支援などを行っている。

本会ではこれらの活動を公式ホームページなどで情報提供しているが、本稿では特に病院図書館での看護研究支援に有効な情報とその活用方法を、本会図書館（以下、当館）に寄せられる質問を中心に述べる。

### II. 日本看護協会公式ホームページ

本会公式ホームページは、一般、看護職、本会会員と情報の仕切りを設け、三つのタブに分かれている（図 1）。概要は表 1 にまとめた。タブの項目名ごとに紹介する。

#### 1. ホーム

一般向けに、本会の活動を紹介し理解を得ることに焦点をあてている。

“発行物のご案内”では本会が発行している主な出版物を一覧表で掲載している。全文がホームに掲載されているもの、会員ダイレクト（II-3 参照）に掲載されているもの、日本看護協会出版会で販売しているものがわかるように印がついているので、入手の際に参考となる。

また“看護統計資料室”では「看護関係統計資料集」よりピックアップした就業者数、養成所数及び定員数などの統計資料を掲載している。

#### 2. 看護職の皆さまへ

“生涯教育”では、看護教育研究センターと神戸研修センターで行っている“研修”や“認定看護師教育”“日本看護学会”“図書館”などの情報を掲載している。“図書館”では利用案内のほか、“所蔵資料”から所蔵する図書、雑誌、映像資料が検索できる。来館した会員に限るが図書の貸出は可能である。また当館では看護学の図書分類である「日本看護協会看護学図書分類表（第 2 版）」を作成しそれに従って分類している。この分類表はホームページで公開している。“最新看護索引”は当館で作成している看護文献データベースで、所蔵する国内発行の看護および周辺領域の雑誌・紀要などに掲載された文献の中から看護の実践・研究・教育に関する文献を採録している。後述する“最新看護索引 Web”の利用方法や年刊版の購入方法などを案内している。“郵送文献複写”では当館への郵送による文献複写の申込方法の説明と申込書のダウンロードが可能である。本会会員もしくは図書館からは相互貸借としてこの用紙で申し込みできるが、前払い制などの条件があるので、図書館から複写を希望する場合も必ず申込方法を確認してほしい。

そのほか、看護を実践する上で役立つ情報として、“看護実践情報”では“看護倫理－看護職のための自己学習テキスト”などのように日々の業務に役立つ情報を掲載し、“国際情報”

いまいずみ ちよ、えとう なつこ、ねぎし じゅんこ  
：社団法人日本看護協会 看護教育研究センター図書館

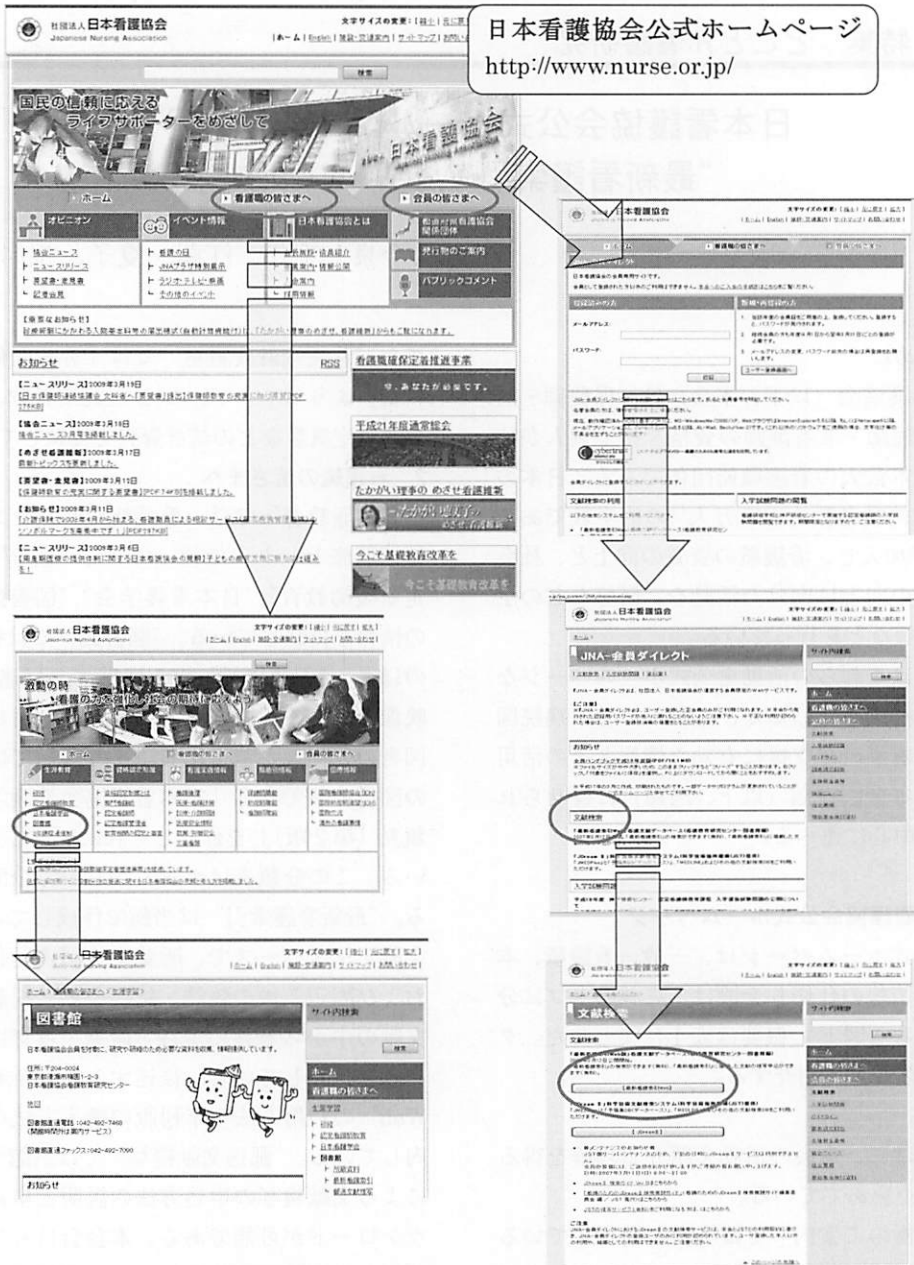


図1 日本看護協会公式ホームページの紹介

では国際看護師協会や国際助産師協会の紹介などのほか、各国の看護教育・規制に関する情報を掲載している。

“学会・イベント情報”では国内外の関連学会の開催期日・場所・連絡先などを掲載してい

る。

3. 会員の皆さまへ (JNA-会員ダイレクト)  
 “会員の皆さまへ (JNA-会員ダイレクト)” (以下、会員ダイレクト) は会員専用ページで、会員番号やメールアドレスなどの登録が必要で

表1 日本看護協会公式ホームページの概要

本会ホームページ(<http://www.nurse.or.jp/>)

ホーム	看護職の皆さまへ	会員の皆さまへ
◆オピニオン	◆生涯教育	◇JNA-会員ダイレクト
◆協会ニュース	◆研修	◇文献検索
◆ニュースリリース	◆認定看護師教育	◇最新看護索引Web
◆要望書・意見書	◆日本看護学会	◇JDream II
◆記者会見	◆図書館	◇入学試験問題
◆イベント情報	◆所蔵資料	◇資料室
◆看護の日	◆最新看護索引	
◆JNAプラザ特別展示	◆郵送文献複写	
◆ラジオ・テレビ・映画	◆資格認定制度	
◆その他のイベント		
◆日本看護協会とは	◆看護実践情報	
◆会長挨拶・役員紹介	◆看護倫理	
◆事業案内・情報公開	◆医療・看護政策	
◆入会案内	◆診療・介護報酬	
◆採用情報	◆医療安全情報	
◆都道府県看護協会関係団体	◆就業・労働安全	
◆発行物のご案内	◆災害看護	
◆パブリックコメント	◆職能別情報	
	◆国際情報	
	◆国際看護師協会(ICN)	
	◆国際助産師連盟(ICM)	
	◆国際交流	
◆看護統計資料室	◆海外の看護事情	
	◆学会・イベント情報	

療福祉施設における暴力対策指針—看護者のために”などを、また“各種報告書等”には“助産師が自立して助産ケアを行う体制 Q&A”や“看護政策研究”などの報告書が掲載されている。

### Ⅲ. 最新看護索引 Web

#### 1. 概要

“最新看護索引”は雑誌「看護」に月報として掲載していたが、1989年に1987年版を年刊版(冊子体)で発行し、会員、図書館などへ提供をはじめた。年刊版は分類ごとに配列され、件名(キーワード)と著者名の索引で探すことができる。件名(キーワード)は、統一している用語も一部あるが、原則としてフリータームで付与している。1999年版以降はすべての文献に記事区分を付与している。年により異なるが1冊に6,000~10,000件収録している。年刊版には一覧性があり、機器がなくても見ることができるという利便性がある。しかし、インターネットの普及とともに電子化への期待が大きくなり、2007年3月に会員ダイレクトより“最新看護索引 Web”(以下、索引 Web)として公開した。それに伴い年刊版は2006年版で終刊となった。終刊後、本会会員以外は索引 Web にアクセスできないため、会員になれない看護学生にも使わせたいという要望が多く寄せられ、2009年3月に機関向けにも公開した。

現在、索引 Web は会員向けには会員ダイレクトから無料で、機関向けにはライブラリー・プラス(凸版印刷 法人向けコンテンツ配信サービス <http://www.libraryplus.jp/>)から有料で公開している。

索引 Web はデータを毎月更新し、2009年2月現在で採録文献数約175,000件となっている。年刊版作成時のデータを利用しているが、発行後に訂正、追加、削除したものもあり、年刊版発行以前の1979~1986年のデータも若干含まれている。収載誌数は約790誌(休・廃刊も含む)で、全収載誌リストはヘルプページに掲載している。

表2 JNA—会員ダイレクト

	名称	詳細
文献検索	「最新看護索引 Web」看護文献データベース	看護教育研究センター図書館で編集している「最新看護索引 Web」が利用可能
	「JDream II」科学技術文献検索システム	科学技術振興機構(JST)提供の「JMEDPlus」「医学・薬学予稿集全文データベース」「MEDLINE」が利用可能
入学試験	看護研修学校認定看護師教育専門課程入学選抜試験問題	時期を限定して公開
	神戸研修センター認定看護師教育課程入学選抜試験問題	
資料室	ガイドライン	各種ガイドライン
	調査研究報告	No.1(1975年)~全文が掲載
	総会要綱	1951年度~
	国際情報	ICN, ICM 関係文書
	各種報告書等	看護協会でもとめた報告書など
	職能集会検討資料	1951年度~
	業務基準	各種看護業務基準
	協会ニュース	1号(1947年)よりすべて掲載

あるが、表2にまとめたような会員限定のさまざまな情報が無料で利用できる。

例えば“ガイドライン”には“臨床倫理委員会の設置とその活用に関する指針”や“保健医

## 2. 検索方法

索引 Web の最大の特徴は、看護に限定したデータベースという点にある。医中誌 Web や JMEDPlus のような医学文献データベースで検索するときは、場合により“看護”というキーワードや分野で絞りこむ必要があるが、それは必要ない。

検索画面は簡易検索と条件検索の二つに分かれている。簡易検索は Google などの検索エンジンのように検索ボックスが一つで、五つまで検索語を入力でき、どの項目からも一括で検索できる (図 2)。検索結果の件数は増えるが、ノイ

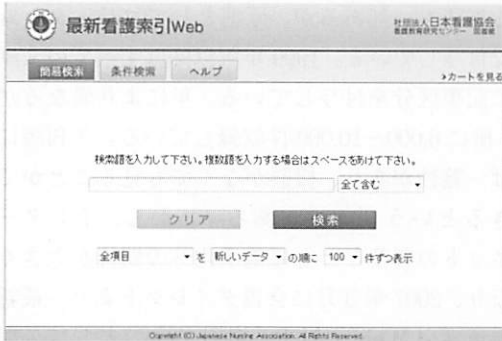


図 2 「最新看護索引 Web」簡易検索画面

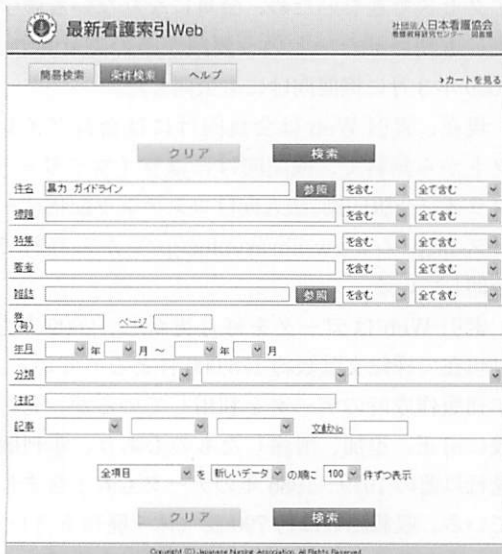


図 3 「最新看護索引 Web」条件検索画面

ズも多くなる。条件検索では著者や雑誌名など項目を指定して検索することができる (図 3)。検索可能な項目は表 3 の通りである。各項目間は AND 検索になる。件名の項目には三つまで検索語を入力できる。検索語が思い浮かばない場合は参照ボタンを押し、思いつく語を入力すると、その語を含む (または始まる) 語が参照できる。件数も表示されるので、検索語を選択する際に活用できる。

著者の項目はふりがな、所属でも検索可能である。例えば、講演などで紹介され、漢字がわからない名前の場合でも、ふりがなで検索ができる。著者の場合のみ、異体字 (崎と崎など) も一括で検索できる。

雑誌名は略誌名を採用していない。誌名の確認は件名同様参照ボタンで確認できる。前述のようにヘルプページの雑誌名のところに全取載誌を掲載している。

検索結果は図 4 のように表示される。会員ダイレクトから利用した場合は必要な文献を

表 3 条件検索で検索可能な項目

条件検索項目	検索内容
件名	キーワード。参照機能あり。3つまで入力可
標題; 副標題	文献の標題や副標題。3つまで入力可
特集; 副特集	特集名や連載名。3つまで入力可
著者名	文献の著者、訳者、ふりがな、所属。3つまで入力可
雑誌名	掲載雑誌名。参照機能あり。3つまで入力可
巻(号)	掲載雑誌の巻号。1つのみ入力可。
ページ	掲載ページ。1つのみ入力可。“1-2”とした場合は含む検索が可能。
年月	掲載雑誌の発行年月。プルダウンで選択。
分類	「最新看護索引」分類表による分類。プルダウンで3つまで指定可能。OR 検索のみ。
注記・出典	抄録記載や学会発表、助成等の補足事項。1つのみ入力可。
記事区分	雑誌に記載されている記事種類。プルダウンで3つまで指定可能。OR 検索のみ。
文献No	当館で付与した固有番号。1つのみ入力可。

チェックし、“チェックした文献の複写申込”をクリックするとカートに保存され、複写申込画面に進み(図5)、そのまま当館へ複写の申し込みができる。本会会員は、身近に利用できる図

書室がない場合も多いことから、複写の申し込みをスムーズに行えるようにした。ライブラリー・プラスから利用した場合は必要な文献をチェックし“チェックした文献のフォルダ保存”を押すと文献フォルダに保存される(図6)。ただし、インターネットからは複写の申し込みはできない。別途ファックスなどで申し込みが必要となる。

カートや文献フォルダに保存した文献は、検索画面に戻っても、索引 Web 画面を閉じなければ一時的に50件まで保存できる。検索履歴が残せないで、これらの機能を活用し、最後に不要な文献を削除し、印刷すると効率的である。ただし、カートや文献フォルダに保存した文献のダウンロードやメール転送はできない。

### 3. 公開後の反響

索引 Web は、2008年度のアクセス件数が約90万回となっている。時間帯別では22~24時の夜遅い時間もよく利用されており、来館利用の難しい多忙な看護職のニーズと一致していることがうかがわれる(図7)。

システム設計にあたっては、文献検索が初めての方にも使いやすいように、コマンドや演算式を入力せず使えるシンプルなデータベースをめざした。来館者を見ていると、簡易検索がトップ画面ということもあるが、簡易検索を利用している方が多く、特別に利用指導を行わなくても検索に取り組むことができている。

公開前は、年間3,000件程度であった郵送文献複写申込みが、公開後の2007年度は10,000

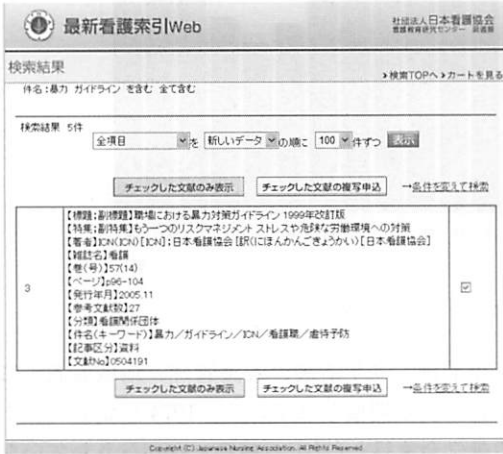


図4 「最新看護索引Web」検索結果画面



図5 「最新看護索引Web」複写文献のカート内容

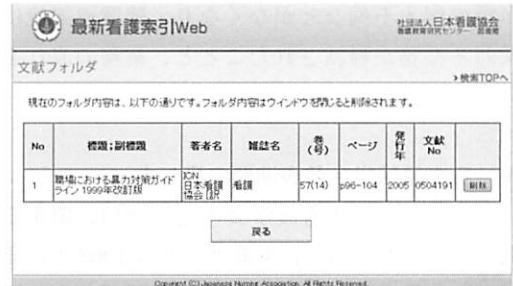


図6 「最新看護索引Web」文献フォルダへの保存

アクセス数

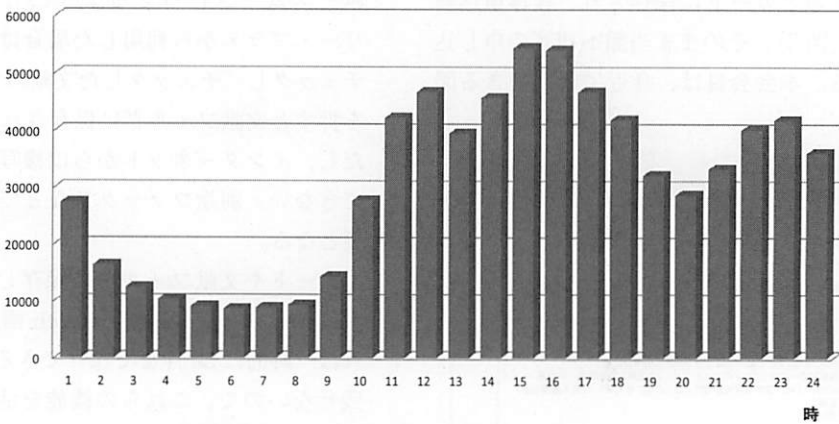


図7 最新看護索引 Web 時間別アクセス数 (2008年度)

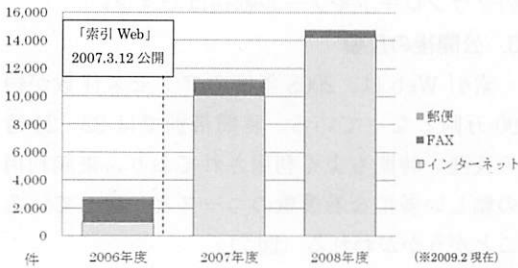


図8 郵送文献複写申込媒体別件数

件を超え、2008年度は年度途中の2009年2月末の数字であるが14,000件に達し、その95%以上が索引Web経由のインターネット申し込みであった(図8)。複写申込件数が大幅に増加したが、複写業務は従来の体制のまま滞りなく処理している。滞貨がない理由としては、検索結果から直接複写申し込みができることで書誌事項の記入不備などがなくなり、確認や謝絶に関わる業務が軽減されたことと、業務の流れを見直し、改善したことが大きい。

#### IV. 日本看護学会発表演題の探し方

当館には、日本看護学会の発表演題に関する問い合わせも多い。日本看護学会は1968年に発足した。現在は10の専門領域別(看護総合、精神看護、母性看護、看護教育、成人看護I・II、

小児看護、老年看護、看護管理、地域看護)に学会集会在開催されている。1974年から「日本看護学会集録」(以下、集録)が刊行されていたが、1998年より、学会参加者にのみ配布される「日本看護学会抄録集」(以下、抄録集)と、学会発表後に提出し選考を経て発行される「日本看護学会論文集」(以下、論文集)の2種類に変更された。そのため、抄録集に演題の掲載があっても論文集に文献の掲載がない場合もある。当館では必ず論文集に掲載されているかを確認し、両方掲載されている場合は論文集を見るように指導している。抄録集は予稿としての位置づけで、論文集はそれに加筆訂正された内容で、より有用と考えるからである。“本会公式ホームページ 抄録集演題・論文集論題一覧”で抄録集の演題一覧、論文集の論題一覧を見ることができる。

“日本看護学会抄録集演題一覧”ではキーワード検索もできるが検索結果は演題とキーワードのみの表示で、発表者やページなどの書誌事項が確認できず、抄録集に掲載されていることがわかりにくい。抄録集を検索する場合は、JMEDPlusから検索すると“医学・薬学予稿集全文データベース”にリンクされているので全文を見ることができる。

“日本看護学会論文集論題一覧”では、領域

ごとに論文集に掲載された文献の著者、著者キーワード、論文集のページも掲載されているが、検索機能はないので、内容から検索したい場合は索引 Web か JMEDPlus を利用した方が効率的である。

また抄録集と論文集では論題が変わることもあり検索の際は注意が必要である。

論文集の全文はインターネット上では公開されていないが、日本看護協会出版会から発行されており、購入できる。

また「日本看護学会誌」は 16 巻 (2006 年) で終刊となったが、“本会公式ホームページ抄録集演題・論文集論題一覧”に 6～16 巻の原著論文、研究報告などの要旨が掲載されている。

## V. おわりに

本会ホームページの情報から看護研究支援に

有効と思われるものを、日頃利用者から寄せられる質問を中心にまとめた。このほかにも本会でまとめた報告書や調査結果などは本会ホームページで公開しているものも多くある。ぜひ一度ご覧いただきたい。

### 引用文献

- 1) 日本看護協会出版会編. 平成 20 年看護関係統計資料集. 東京:日本看護協会出版会; 2009. p.2-3.

### 参考文献

- 1) 根岸准子:看護職への情報提供. ほすびたるらいぶらりあん. 2004; 29(2): 93-7.
- 2) 柳田征宏:日本看護協会 Web サービス「JNA-会員ダイレクト」と文献検索. ほすびたるらいぶらりあん. 2001; 26(4): 371-3.